



二俣川小だより

9月号

横浜市立二俣川小学校

令和2年8月28日

校長 泉 太郎



感染症拡大防止＋熱中症予防

校長 泉 太郎

近年、地球温暖化の影響か暑い夏が続いていますが、今年はその中でも特別に暑く感じます。昨年までは、エアコンの設定温度は28度以上、スイッチはこまめにオン・オフし消費電力を抑えましょうと盛んに言われていたように思います。しかし、今年の夏は、設定温度を下げることや就寝中もエアコンはつけたままにすることが推奨されるなど、感染症や熱中症の影響は、これまで当たり前としていたことを変えてしまうほど大きいと感じます。

短い夏休みを終え8月17日から学校が再開、24日からは給食も始まりました。この時期の学校、給食もまた感染症の影響です。それでも多くの子どもたちは元気に登校し、落ち着いて学校生活を送っています。しかし、短い夏休みで十分休養を取ることができなかつたり、猛暑の中、登下校したりで疲れがたまっている子どもたちも見受けられます。学校では引き続き、感染症・熱中症対策に取り組み、子どもたちの健康・安全に努めていきますが、保護者の皆様にも、お子さんが家庭で十分休養がとれますよう、お子さんの健康維持にご留意ください。また、9月は授業参観・学級懇談会を予定しています。感染症拡大防止のため、実施日を学年ごとに設定するなどご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

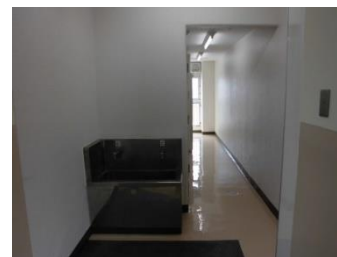
★「熱中症指数計」で熱中症予防★

熱中症予防の目安となる指標「暑さ指数(WBGT)」ですが、この暑さ指数を学校でも測れるように、昨年度、熱中症指数計が各校に配布されました。学校ではこれで暑さ指数を計測し、指数が28度～厳重警戒(激しい運動をしない)、31度～危険(運動をしない)としています。体育学習が中止になったり、レクタイムなどに校庭で遊べなかつたりすることもあります。子どもたちの命を守るためにも大切な取組です。保護者の皆様にもご理解をお願いします。



★トイレ、ピッカピカです★

技術員の竹内さんと鈴木さんは、毎年子どもたちが登校していない夏休みを利用し、普段ではできない場所の清掃に取り組みます。その一つが校舎内のトイレの床の清掃です。猛暑の中でしたが、剥離剤を用いて汚れを落としワックスがけをしてピッカピカのトイレにしてくれました。子どもたちにはいつも気持ちよく使えるよう、きれいに利用してほしいと思います。



★おいしくて安全な給食の提供に向けて★

「よこはま学校食育財団」という団体があります。給食を実施している横浜市立学校に物資の調達・斡旋をしたり、食の安全・安心への取組や食に関する情報を発信したり、地産地消や食育の推進を行ったりすることが主な事業内容です。8月24日給食再開日に、財団の相談員が来校し、本校の給食の実施状況について視察しました。視察後、とてもよい環境の中で給食が実施されている、調理スタッフのコミュニケーションがよいなどと評価を受けました。日頃から二俣川小学校の給食はとてもおいしいと感じていますが、改めてよい評価を受け、おいしくて安全な給食が実施できていることをうれしく思いました。なお、視察日の献立について財団のホームページに紹介されています。ほかにも給食に出る献立の調理方法など様々な取組が紹介されています。お時間のある時にぜひご覧ください。



よこはま学校食育財団ホームページ→食育広場→作ってみよう！給食の献立(学校編)→学校給食の献立紹介・旭区→二俣川小